

術前化学療法後に乳房全切除術を行った乳癌に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2022年10月21日～2024年12月31日

〔研究課題〕

術前化学療法を施行した乳癌における一次乳房再建の観察研究

〔研究目的〕

乳癌において術前化学療法後に乳房部分切除術の適応とならなかった場合、乳房全切除術と乳房再建が治療の選択肢となります。術前化学療法は創傷治癒遅延や感染の原因となる可能性があり、乳房再建における有害事象の増加が懸念されます。また、乳房再建が治療に及ぼす影響や腫瘍学的な影響についても未解明な点があります。

そこでこの研究では、術前化学療法を行った乳癌において一次乳房再建の有無による予後や有害事象について比較検討します。

〔研究意義〕

術前化学療法後の一次乳房再建の安全性や根治性について示すことができます。

〔対象・研究方法〕

2007年2月から2022年7月までの期間に帝京大学医学部附属病院で術前化学療法後に乳房全切除を行った乳癌の患者さんを対象とします。診療録(臨床データ、画像データ、病理組織所見等)を参照しデータを解析します。

〔研究機関名〕

帝京大学医学部 外科学講座

〔個人情報の取り扱い〕

個人情報に十分配慮し、個人情報がわからないように加工します。研究終了後に情報を倫理委員会事務局に提出し、研究終了後の情報については、帝京大学臨床研究センターで10年間保管の後に廃棄します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問い合わせ先

研究責任者:氏名 神野浩光 職名 帝京大学医学部 外科学講座 教授
所属: 帝京大学医学部 外科学講座/帝京大学医学部附属病院 外科
住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1211(代表)